

張本政 主編

清實錄

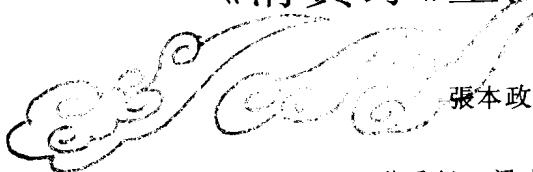
臺灣史資料專輯



福建人民出版社



《清實錄》臺灣史資料專輯



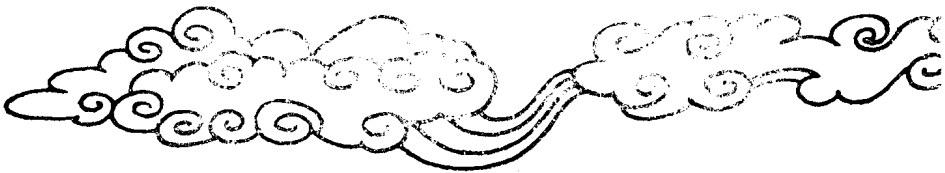
張本政 主編



蔣秀松 梁志忠 崔國璽
張本政 馬國晏 劉家磊



福建人民出版社
一九九三年・福州



閩新登字 01 號

《清實錄》臺灣史資料專輯

張本政 主編

*

福建人民出版社出版

(福州得貴巷 27 號)

福建省新華書店發行

福建新華印刷廠印刷

開本 850×1168 毫米 1/32 38.5 印張 5 插頁 919 千字

1993 年 12 月第 1 版

1993 年 12 月第 1 次印刷

印數:1—3,000

ISBN 7—211—01892—5

K·115 定價:28.50 元

前 言

《清實錄》全稱《大清歷朝實錄》。

《清實錄》是我國現存卷帙最大的一部實錄，包括清統治者入關前的兩部實錄和入關後的九部實錄，共十一朝，約五千餘萬字。

《清實錄》卷帙浩繁，內容豐富，系統記錄了清代歷朝皇帝的諭旨、誥命以及廷臣、將軍、督撫的題本、奏疏。上自軍國大事，下至皇帝起居，舉凡政治、經濟、軍事、外交、文化等各方面，事無巨細，一一記載。作為一種編年體資料長編，《清實錄》是研究清代史和中國近代史最重要的資料之一，受到國內外史學家的普遍重視。

《清實錄》所載內容，其時間長達三百餘年之久，其空間包括全國所有省區，有着比較系統、完整的區域性和專題性資料。然而，由於卷帙過大和體例所限，每一區域和每一專題資料，散見於各年各月，貫穿於全書始終，若在較短的時間內，從如此龐大的資料庫中，檢索出一個地區、一個專題的資料，殊非易事。因此，從《清實錄》中輯出若干區域性或專題性資料，是一項鋪路建橋、澤被後世的有益工作。其實，這項工作早已為國內外史學界所重視，並已作出很大成績，國內先後出版了十餘種有關資料。例如：《〈清實錄〉經濟資料輯要》、《〈清實錄〉中俄關係資料匯編》、《〈清實錄〉貴州資料輯要》、《〈清實錄〉有關雲南史料匯

DK56/31
20
編》、《〈清實錄〉東北史料全輯》等。《〈清實錄〉臺灣史資料專輯》，便是《清實錄》中區域性資料的一種。

《清實錄》對有清一代臺灣的歷史作了系統的記載，臺灣各時期的政治、經濟、文化等，無不與大陸息息相關，充分證明臺灣是祖國領土不可分割的一部分；臺灣人民（包括漢族和當地少數民族）是祖國大家庭中的一員；臺灣歷史是祖國歷史中的有機組成部分。

吉林省社會科學院歷史所的六位同志，根據當前海峽兩岸同仁研究臺灣歷史的迫切需要，用一年多時間，將《清實錄》中有關臺灣史料全部摘出，以時為序，編輯成書。本書所收資料內容甚廣，包括了臺灣歷史上各方面的問題，諸如：清政府統一臺灣的過程；臺灣的設置及其沿革；臺灣各級官吏的任免、獎懲；清政府對臺灣人民的統治和對少數民族的政策；臺灣各族人民反封建起義和各種形式的反清鬥爭；外國資本——帝國主義對臺灣的侵略和臺灣各族人民反侵略鬥爭；臺灣的工業、商業、貿易和交通運輸業的興衰起伏；臺灣的重大民、刑案件和械鬥案件；臺灣的各種自然災害；以及大陸上許多重大事件對臺灣的影響；等等。從上述極為廣泛的內容可以看出，這部專輯將為研究有清一代臺灣地方史諸問題，提供一部較為系統的資料，是海峽兩岸同仁從事臺灣史研究的必備參考書。

福建人民出版社的編輯同志對本書的編輯出版，傾注了大量心血，提出了摘編原則和編輯體例，進行了具體指導。在此，我們表示真摯的謝意。

由於時間倉促，缺乏經驗，本書一定會有許多不足之處，懇請讀者批評指正。

本書編輯分工如下：

蔣秀松：聖祖實錄、世宗實錄、高宗實錄（乾隆元年至

三十七年)

梁志忠：高宗實錄（乾隆三十八年至六十年）

崔國璽：仁宗實錄

張本政：宣宗實錄、文宗實錄、穆宗實錄（同治元年至四年）。

馬國晏：穆宗實錄（同治五年至十三年）

劉家磊：德宗實錄

編 者

一九九〇年一月

編 例

一、本書是一部系統的區域性歷史資料專輯。根據國內外研究和撰寫臺灣地方史的迫切需要，編者從有清一代十一朝實錄中，將有關臺灣地方史資料全部輯出，編次成書，故名《〈清實錄〉臺灣史資料專輯》。

二、本書所收資料的地域範圍，包括臺灣全島和澎湖列島。

三、本書根據“一網打盡”的原則，凡屬上述範圍的資料不分長短，不論輕重，有文必錄，悉數輯出。凡編入本書的資料，除對少數無關文字作了刪節外，一律全文摘錄。刪節之處，以（上略）、（中略）、（下略）字樣標示。

四、本書編輯體例，仍按原書編年體，先列某朝實錄，次列年份，然後逐月逐日排列資料。在每件資料前，先寫舊曆月日，然後在括號內加注相應的公曆月日，以便查考；本書刪掉了原書中之“春夏秋冬”和“朔”等記時方法，並將干支直接換成日期。

五、原書不分段，無標點，祇有圈點，閱讀十分不便。本書則一律分段，重新標點，並取消了原書的尊清抬格。但鑒於檔案（上諭和奏摺）行文特點，為了避免繁瑣，盡量不用引號。

六、原書中文字上有些錯誤，在摘編時，凡遇訛字，或在訛字下（ ）內填入正字，或出示腳註予以說明；凡遇奪文，在〔 〕內補足；凡遇衍文，則以□圈出。對原書中某些手寫體、異

體字和因避諱之缺筆字，除編者認為必須出註說明外，一律直接改為通行字。原書中人名、地名前後歧異者，均從原書，明顯錯別字，逕改。

七、原書每件資料前的省寫語“又諭”、“又奏”等，本書均依據前件，改為“諭內閣”、“諭軍機大臣等”、“某某奏”等。

八、本書在每條資料的右下角，註明本資料所在原書卷、頁，以便對照原書。如標明 12/10，即為該朝實錄第十二卷第十頁。

九、為閱讀方便，在書前列有年代目錄；在每朝實錄前加了編者按語，簡要地介紹了本朝實錄中有關臺灣史資料的內容。

十、原書中常有誣蔑、歧視人民的稱謂、語氣和議論，及一些不符史實的提法和不妥的看法，本書一律保持原貌，未作改動。

目 錄

聖祖實錄

順治十八年 (1661 年)		(3)
康熙元年 (1662 年)		(4)
康熙二年 (1663 年)		(5)
康熙三年 (1664 年)		(8)
康熙四年 (1665 年)		(11)
康熙五年 (1666 年)		(13)
康熙六年 (1667 年)		(14)
康熙八年 (1669 年)		(14)
康熙九年 (1670 年)		(15)
康熙十年 (1671 年)		(15)
康熙十二年 (1673 年)		(16)
康熙十三年 (1674 年)		(16)
康熙十四年 (1675 年)		(16)
康熙十五年 (1676 年)		(17)
康熙十六年 (1677 年)		(18)
康熙十七年 (1678 年)		(21)

康熙十八年	(1679 年)		(33)
康熙十九年	(1680 年)		(44)
康熙二十年	(1681 年)		(50)
康熙二十一年	(1682 年)		(53)
康熙二十二年	(1683 年)		(55)
康熙二十三年	(1684 年)		(63)
康熙二十四年	(1685 年)		(68)
康熙二十五年	(1686 年)		(69)
康熙二十六年	(1687 年)		(70)
康熙二十七年	(1688 年)		(71)
康熙二十八年	(1689 年)		(72)
康熙二十九年	(1690 年)		(72)
康熙三十年	(1691 年)		(73)
康熙三十二年	(1693 年)		(73)
康熙三十三年	(1694 年)		(73)
康熙三十四年	(1695 年)		(74)
康熙三十六年	(1697 年)		(74)
康熙三十七年	(1698 年)		(74)
康熙三十八年	(1699 年)		(74)
康熙四十年	(1701 年)		(75)
康熙四十四年	(1705 年)		(75)
康熙四十五年	(1706 年)		(76)
康熙四十六年	(1707 年)		(76)
康熙四十七年	(1708 年)		(77)
康熙五十年	(1711 年)		(77)
康熙五十一年	(1712 年)		(78)
康熙五十二年	(1713 年)		(78)

康熙五十三年 (1714 年)		(79)
康熙五十四年 (1715 年)		(79)
康熙五十五年 (1716 年)		(79)
康熙五十六年 (1717 年)		(80)
康熙五十七年 (1718 年)		(81)
康熙五十八年 (1719 年)		(83)
康熙六十年 (1721 年)		(83)
康熙六十一年 (1722 年)		(90)

世宗實錄

雍正元年 (1723 年)		(95)
雍正二年 (1724 年)		(98)
雍正三年 (1725 年)		(99)
雍正四年 (1726 年)		(100)
雍正五年 (1727 年)		(101)
雍正六年 (1728 年)		(103)
雍正七年 (1729 年)		(103)
雍正八年 (1730 年)		(106)
雍正九年 (1731 年)		(107)
雍正十年 (1732 年)		(108)
雍正十一年 (1733 年)		(109)
雍正十二年 (1734 年)		(113)
雍正十三年 (1735 年)		(114)

高宗實錄

雍正十三年	(1735 年)		(118)
乾隆元年	(1736 年)		(119)
乾隆二年	(1737 年)		(121)
乾隆三年	(1738 年)		(124)
乾隆四年	(1739 年)		(126)
乾隆五年	(1740 年)		(128)
乾隆六年	(1741 年)		(129)
乾隆七年	(1742 年)		(132)
乾隆八年	(1743 年)		(134)
乾隆九年	(1744 年)		(137)
乾隆十年	(1745 年)		(142)
乾隆十一年	(1746 年)		(145)
乾隆十二年	(1747 年)		(151)
乾隆十三年	(1748 年)		(160)
乾隆十四年	(1749 年)		(167)
乾隆十五年	(1750 年)		(169)
乾隆十六年	(1751 年)		(172)
乾隆十七年	(1752 年)		(175)
乾隆十八年	(1753 年)		(181)
乾隆十九年	(1754 年)		(187)
乾隆二十年	(1755 年)		(191)
乾隆二十一年	(1756 年)		(193)
乾隆二十二年	(1757 年)		(193)
乾隆二十三年	(1758 年)		(195)
乾隆二十四年	(1759 年)		(197)
乾隆二十五年	(1760 年)		(198)
乾隆二十六年	(1761 年)		(201)

乾隆二十七年 (1762 年)		(203)
乾隆二十八年 (1763 年)		(205)
乾隆二十九年 (1764 年)		(206)
乾隆三十年 (1765 年)		(206)
乾隆三十一年 (1766 年)		(207)
乾隆三十二年 (1767 年)		(211)
乾隆三十三年 (1768 年)		(212)
乾隆三十四年 (1769 年)		(221)
乾隆三十五年 (1770 年)		(248)
乾隆三十六年 (1771 年)		(251)
乾隆三十七年 (1772 年)		(252)
乾隆三十八年 (1773 年)		(252)
乾隆三十九年 (1774 年)		(254)
乾隆四十年 (1775 年)		(254)
乾隆四十一年 (1776 年)		(255)
乾隆四十二年 (1777 年)		(256)
乾隆四十四年 (1779 年)		(256)
乾隆四十五年 (1780 年)		(257)
乾隆四十六年 (1781 年)		(258)
乾隆四十七年 (1782 年)		(263)
乾隆四十八年 (1783 年)		(274)
乾隆四十九年 (1784 年)		(287)
乾隆五十年 (1785 年)		(288)
乾隆五十一年 (1786 年)		(290)
乾隆五十二年 (1787 年)		(301)
乾隆五十三年 (1788 年)		(484)
乾隆五十四年 (1789 年)		(590)

乾隆五十五年 (1790 年)		(602)
乾隆五十六年 (1791 年)		(609)
乾隆五十七年 (1792 年)		(612)
乾隆五十八年 (1793 年)		(619)
乾隆五十九年 (1794 年)		(620)
乾隆六十年 (1795 年)		(625)

仁宗實錄

嘉慶元年 (1796 年)		(637)
嘉慶二年 (1797 年)		(638)
嘉慶三年 (1798 年)		(640)
嘉慶四年 (1799 年)		(644)
嘉慶五年 (1800 年)		(646)
嘉慶六年 (1801 年)		(646)
嘉慶七年 (1802 年)		(647)
嘉慶八年 (1803 年)		(647)
嘉慶九年 (1804 年)		(649)
嘉慶十年 (1805 年)		(651)
嘉慶十一年 (1806 年)		(654)
嘉慶十二年 (1807 年)		(681)
嘉慶十三年 (1808 年)		(689)
嘉慶十四年 (1809 年)		(706)
嘉慶十五年 (1810 年)		(716)
嘉慶十六年 (1811 年)		(725)
嘉慶十七年 (1812 年)		(727)
嘉慶十九年 (1814 年)		(729)

嘉慶二十年	(1815 年)		(730)
嘉慶二十一年	(1816 年)		(732)
嘉慶二十二年	(1817 年)		(732)
嘉慶二十三年	(1818 年)		(733)
嘉慶二十五年	(1820 年)		(733)

宣宗實錄

嘉慶二十五年	(1820 年)		(737)
道光元年	(1821 年)		(738)
道光二年	(1822 年)		(740)
道光三年	(1823 年)		(742)
道光四年	(1824 年)		(745)
道光五年	(1825 年)		(754)
道光六年	(1826 年)		(756)
道光七年	(1827 年)		(773)
道光八年	(1828 年)		(775)
道光九年	(1829 年)		(778)
道光十年	(1830 年)		(779)
道光十一年	(1831 年)		(781)
道光十二年	(1832 年)		(782)
道光十三年	(1833 年)		(813)
道光十四年	(1834 年)		(850)
道光十五年	(1835 年)		(858)
道光十六年	(1836 年)		(862)
道光十七年	(1837 年)		(865)
道光十八年	(1838 年)		(867)

道光十九年	(1839 年)		(870)
道光二十年	(1840 年)		(872)
道光二十一年	(1841 年)		(876)
道光二十二年	(1842 年)		(885)
道光二十三年	(1843 年)		(899)
道光二十四年	(1844 年)		(903)
道光二十五年	(1845 年)		(905)
道光二十六年	(1846 年)		(907)
道光二十七年	(1847 年)		(910)
道光二十八年	(1848 年)		(912)
道光二十九年	(1849 年)		(913)

文宗實錄

道光三十年	(1850 年)		(917)
咸豐元年	(1851 年)		(921)
咸豐二年	(1852 年)		(923)
咸豐三年	(1853 年)		(926)
咸豐四年	(1854 年)		(933)
咸豐五年	(1855 年)		(936)
咸豐六年	(1856 年)		(938)
咸豐七年	(1857 年)		(939)
咸豐八年	(1858 年)		(939)
咸豐九年	(1859 年)		(940)
咸豐十年	(1860 年)		(943)
咸豐十一年	(1861 年)		(945)

穆宗實錄

咸豐十一年	(1861 年)		(948)
同治元年	(1862 年)		(948)
同治二年	(1863 年)		(954)
同治三年	(1864 年)		(966)
同治四年	(1865 年)		(977)
同治五年	(1866 年)		(980)
同治六年	(1867 年)		(983)
同治七年	(1868 年)		(985)
同治八年	(1869 年)		(988)
同治九年	(1870 年)		(991)
同治十年	(1871 年)		(994)
同治十一年	(1872 年)		(995)
同治十二年	(1873 年)		(997)
同治十三年	(1874 年)		(997)

德宗實錄

同治十三年	(1874 年)		(1020)
光緒元年	(1875 年)		(1021)
光緒二年	(1876 年)		(1032)
光緒三年	(1877 年)		(1039)
光緒四年	(1878 年)		(1050)
光緒五年	(1879 年)		(1056)
光緒六年	(1880 年)		(1061)
光緒七年	(1881 年)		(1066)